

令和7年度松山東高校通信制 前期卒業証書授与式 式辞

ようやく秋の訪れが感じられるようになった、9月の佳き日に、令和7年度 愛媛県立松山東高等学校通信制課程の卒業証書授与式を挙行できますことは、我々教職員一同、この上ない喜びです。

卒業証書を授与いたしました卒業生の皆さん、おめでとうございます。いろいろな思いを持って本校通信制に入学され、今日まで頑張った皆さんの卒業をうれしく思います。

7月27日の生徒生活体験発表大会で発表をした生徒や、発表を聞いた生徒から寄せられた感想が、9月の友垣通信に掲載されていました。その一部を、二つ紹介します。

「苦労したり、人生の底にいると感じたり、そんな過去があるからこそ、皆、悩み抜いた選択を信じて、通教生活を送っているのかなと感じました。」

「一人一人、通信制に来た背景や世界、目標は違うけれど、皆、目指すところがあり、それに向けて努力している姿に、感動しました。」

皆さんも、今日の卒業を迎えるまでには、うれしかったこともあれば、困難もあったことと思います。人間関係で喜びを感じたり、一方でその難しさを感じたりしたことも、また、単位修得の喜びもあれば、修得が難しかったこともあったでしょう。体調面の好不調もあったかもしれません。それらを経験して、本日迎える卒業には、格別の思いがあるものと思います。

既に知っているとおり、皆さんは、決して一人ではありません。通信制で学ぶかけがえのない友垣や、温かい言葉をかけてくださった先生方がいます。そして、優しく見守ってくださる家族がいます。「ひとりじゃないんだ、がんばろう。」この言葉は、来年度始まる北条清新高校にも引き継がれていきます。

78年続いた松山東高校通信制は、来年の3月で終わりを迎えます。先日、東高通信制最後の同窓会が開催され、70代、80代、90代の先輩が、通信制にまつわる御自分の思いを話されました。皆さん、高校で学びたい、高校卒業の資格を取りたいという当時の思いと、通教生活の思い出を、柔らかい言葉で穏やかに話しておられ、聞かせていただいた私も、本当に感動しました。東高の体育館前には、同窓会の皆様のお力で、記念碑が作られています。皆さんも、時々、東高に帰ってきて、その記念碑を見てください、そして、後輩たちのいる北条清新高校を温かく見守ってください。

保護者の皆様、本日のお子様の御卒業、誠におめでとうございます。これまで、お子様を支えてこられました皆様に、改めて敬意を表しますとともに、心からお喜びを申し上げます。

卒業生の皆さん。卒業おめでとう。いよいよ旅立ちです。皆さんは、これまでもこれからも、私たち教職員にとって、また、地域や社会にとって、かけがえのない存在です。

皆さんの今後の成長と御健康、御活躍を心からお祈りし、式辞といたします。

令和7年9月30日

愛媛県立松山東高等学校長 沖田浩史